

AI活用の生販計画立案など新世代のモノづくり手法を学ぶ！ [在庫削減]と[リードタイム短縮・生産性向上]を 両立するモノづくり改革の進め方

～顧客ニーズの多様化・材料高騰局面だからこそ「今」取り組みたい実践的手法～

日時 2025年9月19日(金) 10:00～17:00 ※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)
(9:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム/オンライン (ZOOM)

講師 小川 正樹 氏 (株)MEマネジメントサービス 代表取締役社長 技術士(経営工学) 受講料 48,400円(資料含む、消費税込) ※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】材料高騰や部品不足など現在の経営環境に対応した在庫管理の考え方が学べます。
- 【2】リードタイムから見た適正在庫の目標値の設定方法と仕組みが理解できます。
- 【3】excelでの実習を通じて不定期・不定量の発注方式・発注量が具体的に学べます。
- 【4】事例を通じてAI活用の生販計画立案モデルの構築と生産計画への展開が学べます。
- 【5】自社データの入力で最適な在庫量を設定できるexcelシートを進呈します。

プログラム

1. 顧客ニーズの多様化に対応したモノづくり

- 1-1 経営環境の変化に対応したデジタル時代の生産・在庫管理
 - 1-2 顧客ニーズの多様化と4つの対応策
 - 1-3 リードタイムと在庫から見たもの作り作戦
 - 1-4 生産方式の特性と生産・在庫管理の関係
 - 1-5 在庫の仕組みと在庫を持つ理由
- 演習：あなたの会社における、在庫を持つ長所と短所は何ですか？

2. リードタイム短縮・在庫低減の可能性分析

- 2-1 リードタイムと在庫の構造を分析
- 2-2 リードタイムから見た在庫の活用ポイント
- 2-3 適正な製品在庫の目標値を設定
- 2-4 在庫削減に向く生産方式は
- 2-5 リードタイム短縮による在庫低減事例

3. 生産品種と数量の変動に対応した強いモノづくり改革

- 3-1 顧客要求リードタイムと供給可能リードタイムを整理
- 3-2 顧客要求リードタイムからデカップリング(在庫)ポイントを設定
- 3-3 生産計画と在庫管理のツボとコツ
- 3-4 製品在庫、仕掛在庫、部品在庫の低減策

4. 発注方式と基準在庫量・安全在庫量の設定

- 4-1 リードタイムを考慮して安全在庫量を設定
 - 4-2 安全在庫量を加味して基準在庫量を設定
 - 4-3 欠品を起こさない発注点の求め方
 - 4-4 最も得になる買い方
 - 4-5 環境変化に対応する不定期・不定量の発注方式へ向けて
- 演習：実践！Excelで欠品を起こさない最適な安全在庫量を設定する
実践！Excelで最も得になる発注量を設定する

5. 生産計画によるリードタイム短縮と在庫活用

- 5-1 生産計画とコスト的にメリットのある負荷調整
 - 5-2 ネック工程を活用する生産計画の立て方
 - 5-3 AI・機械学習活用の生販計画立案モデルを構築
 - 5-4 AI・機械学習を活用した需要予測のプロセス
 - 5-5 AI・機械学習を活用した生産計画立案の自動化の進め方
- 演習：実践！Excelでコスト的にメリットのある生産計画を立案する

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

